

■「壊死性脳脊髄炎によるてんかん発作の対応」

日本ホメオパシーセンター滋賀草津

JPHMA 認定ホメオパス No. 0775

JPHMA 認定アニマルホメオパス No. A0109

HMA 認定ホメオパス No. 1623

ZEN メソッド修得認定 No. 0087

今村 香 (いまむら かおり)

本文

マルチーズ メス、8歳

タイムライン

5歳 腎臓の数値が高い

6歳 斜頸、歩行困難、ケイレン

7歳 重度のケイレン発作、壊死性髄膜脳炎と診断される

投薬 抗ケイレン薬、ステロイド、肝臓保護剤

1回目

度重なるケイレンがおこり、MRI や随液検査の結果、壊死性髄膜脳炎と診断された。抗ケイレン薬やステロイド、肝臓保護剤の投与を受けて、脳炎の進行は止まったがケイレンは続いていた。けいれんは昼間に興奮すると夜中に起こることが多い。顔の部分のピクツキから始まり全身がバタバタ動く。意識がなく泡を吹き、失禁がおこる。だいたい 20～30 秒ぐらい続く。通常の排尿量は多いと思う。鼻鏡の乾燥と肥厚が気になる。

【TBR】：上記の症状に対し TBR (The Bonnighausen repertory の略) を使って検索

971 意識のないてんかん様発作

972 痙攣性のてんかん様発作

1753 感情の興奮<

1097 ケイレン

455 過剰な排尿

Calc、Cic

朝) アルポ Cic.LM3 +Sph.LM2 +Calc-p.LM1 +Merc-sol.LM3

昼) アルポ Alum.LM1 +Canis-9D-V.30C +Adren.30C +St-PSL-D.30C

頓服) アルポ Hyos.200C +Stram.200C +Cupr.200C

※Cic./ドクゼリ、Syph./ノゾース、Calc-p./リン酸カルシウム、Merc-sol./水銀、
Alum./酸化アルミニウム、Cani-9D-V./薬剤レメディー、Adren./アドレナリン、
St-PSL-D./薬剤レメディー、Hyos./ヒヨス、Stram./シロバナチョウセンアサガオ、
Cupr./銅

壊死性ということでマヤズムは Syph.。TBR から選ばれた Cic.と Calc.は Calc-p.にして出した。
薬剤の影響に対して、Alum.、Merc.、Cani-9D-V.、St-PSL-D.。今後のケイレン発作時に Hyos.、
Stram.、Cupr.を作って渡した。

2回目

ケイレンの様子は変わらないが、今まで朝方がボーっとしていたのが消えて、朝から元気にな
ってきた。季節の変わり目や嵐の前、満月の次の日に起こりやすい。また、昼寝ができなかった
夜に起こる。

2160 眠りの喪失から<

971 意識のないてんかん様発作

972 痙攣性のてんかん様発作

1097 ケイレン

1911 知的な労作で<

1700 天候の変化<

1716 満月の間<

455 過剰な尿量

1個欠ける Calc.、Sulph.、Sep.、2個欠ける Cocc.、Nux-v.

また、以下のレパートリーを参考にした。

1753 感情の興奮< Calc.、Mar.、Cic.、Ign.

1716 満月の間< Nat-c.、Sabad.、Sil.、Spong.、Alum.、Calc.、Cycl.、Graph.、Mar.、Sulph.

朝) アルポ Calc-p.LM2 +Sulph.LM2 +Sep.LM4 +Syph.LM3 +Psor.LM3

昼) アルポ Cocc.LM4 +Nux-v.LM4 +Sil.LM2 +Valer.LM4 +Merc-sol.LM4

頓服) アルポ Hyos.200C +Bell.200C +Cupr.200C +Stram.200C +Cic.200C

※Calc-p./リン酸カルシウム、Sulph./硫黄、Sep./イカ墨、Syph./ノゾース、Psor./ノゾース、
Cocc./アオツヅラフジ、Nux-v./マチンシ、Sil./二酸化珪素、Valer./ヨウシュカノコソウ、
Merc-sol./水銀、Hyos./ヒヨス、Bell./セイヨウハシリドコロ、Cupr./銅、
Stram./シロバナチョウセンアサガオ、Cic./ドクゼリ

前回よりもケイレンが減ってきているので、ポテンシーを変えて出しているものもある。新たに選んだものが、TBR から Sep.、Sulph.、Cocc.、Nux-v.、Valer.は脳神経を落ち着かせるために選んだ。Sil.は炎症状態を解決するためと、他のマルチーズと比べても身体が小さく虚弱なので追加した。

3回目

ケイレンがなかったが、夜中に起きて歩き出す、震えが始まる。鼻が湿ってきた。起きた時にポーっとしていることが気になる。

- 1687 朝<
- 801 劣った知力
- 812 鈍さ
- 1693 夜中に
- 809 躁病
- 2160 眠りの喪失<

Ph-ac.、Nux-v.、Stram.、Sep.、Cocc.

朝) アルポ Calc-p.LM3 +Sulph.LM3 +Sep.LM5 +Syph.LM4 +Psor.LM4

昼) アルポ Cocc.LM5 +Nux-v.LM5 +Sil.LM5 +Ph-ac.LM5 +Hyper.6C

頓服) アルポ Hyos.200C +Bell.200C +Cupr.200C +Stram.200C +Cic.200C

※Calc-p./リン酸カルシウム、Sulph./硫黄、Sep./イカ墨、Syph./ノゾース、Psor./ノゾース、Cocc./アオツヅラフジ、Nux-v./マチンシ、Sil./二酸化珪素、Ph-ac./リン酸、Hyper./セイヨウオトギリソウ、Hyos./ヒヨス、Bell./セイヨウハシリドコロ、Cupr./銅、Stram./シロバナチョウセンアサガオ、Cic./ドクゼリ

TBR から Ph-ac.を選んだ。Hyper.は神経のダメージを良くするため。それ以外は前回と同じレメディを選んだ。

4回目

しばらくなかったが、12月に入って3回起こった。一回の発作時間は短くなっている。意識はないが失禁はしていない。ケイレンの後歩き回って普通に戻る。朝から元気に走り回っている。ステロイドと抗ケイレン薬を減薬。小さいころに頭から落下していることを思い出した。

- 971 意識のないてんかん様発作
- 972 痙攣性のでんかん様発作
- 2221 歩く間>
- 1097 ケイレン

Hyos.、Cupr.、Bell.、Cham.、Cic.

随時) サポート φ Kan + Arn.30C + Nat-s.30C + Bufo.30C + Valer.30C + Caust.30C

夜) アルポ Calc-p.LM4 + Sil.LM4 + Lyc.LM6 + Tub-b.LM5 + Ars.LM6

※Arn./ウサギギク、Nat-s./硫酸ナトリウム、Bufo./ヒキガエル、Valer./ヨウシュカノコソウ、
Caust./水酸化カリウム、Calc-p./リン酸カルシウム、Sil./二酸化珪素、
Lyc./ヒカゲノカズラ、Tub-b./ノゾース、Ars./三酸化砒素

飼い主さんがレメディの対応にも慣れてきたため、肝臓のサポートを出した。小さいころの頭部損傷に対して Nat-s.と Arn.。てんかん、前兆、ぺろぺろなめるから Bufo.。てんかんのレメディとして Caust.。新月のてんかんで Lyc.を選びました。マヤズムを破壊の Syph.から複合化した炎症反応の Tub.に変えました。

5回目

久しぶりに夜中に3回起こった。てんかん後もすぐに眠れるようになった。てんかん後に歩き回るがすぐに止まる。発作を起こすのに条件がわかってきた。シャンプーをした日、寒かった日、満月、興奮して眠れなかった日。

サポート φ Jin + Agar.30C + Gall.200C + Lach.30C + Pluton.30C + Arg-n.30C

アルポ Calc-p.LM5 + Sil.LM5 + Lyc.LM7 + Tub-b.LM6 + Caust.LM5

※Agar./ベニテングダケ、Gall./ガリウム、Lach./ブッシュマスター、Pluton./プルトニウム、
Arg-n./硝酸銀、Calc-p./リン酸カルシウム、Sil./二酸化珪素、Lyc./ヒカゲノカズラ、
Tub-b./ノゾース、Caust./水酸化カリウム

その後、てんかんを起こすこともなくなった。

カテゴリー：[動物]